

2014年夏期特別展「貝塚市の生きものたち」

～自然遊学館の生きものデータから初記録種や注目種を紹介します～

期間：2014年7月20日～8月31日

場所：貝塚市立自然遊学館多目的室

はじめに

貝塚の生きもの展を開催するに当たって

平成5年10月に建てられた自然遊学館は、平成25年(2013年)に20周年を迎えました。自然遊学館はこの20年の間に3つの事業を行ってきました。本特別展では、この中の観察・調査活動事業から、貝塚の生きものとして、珍しい物(初記録や希少価値のあるもの、絶滅の危惧に当たるもの等)を選び展示しました。

観察・調査活動事業

自然遊学館は貝塚の自然を調査し、その結果を館内展示や季刊誌・報告書でお知らせしてきました。開館当時から貝塚市全体の自然の観察・調査を毎年行い、その結果は膨大な量となっています。自然遊学館の標本や資料は年々増え、この規模の博物館としては他に類を見ないほどの資料・標本・記録を所有しています。その結果は季刊誌『遊学館だより』や報告書『貝塚の自然』でお知らせしていますので皆様ご存じのことと思います。

大阪府の委託事業『二級河川近木川・近木川汽水ワンド観察』

平成24年から新たに近木川汽水域の自然再生事業、『近木川汽水ワンド』の観察・調査を大阪府より委託を受け行っています。現在干潟の形成を観察調査中です。珍しい生きものや自然再生が行われる過程を観察しています。

来館された方の感想より

「ここ良いよなー 見やすいし・・・中略・・・いつまでも置いといて欲しいよなー」。自然に親しみ、自然を大切にすることを心がけ展示普及、維持管理に努めてきた最高の褒め言葉で

2014年夏期特別展「貝塚市の生きものたち」

～自然遊学館の生きものデータから初記録種や注目種を紹介します～



場所：貝塚市立自然遊学館多目的室

期間：2014年7月20日(日)～8月31日(日)

貝塚市二色3丁目26-1 水鉄バス「市民の森」バス停下車徒歩1分

Tel. 072-431-8457 火曜日は休館日です。ご注意ください。

しょうか？ 自然遊学館には来館していただいた皆様の心を和ませる生きものがたくさんいます。これからも自然遊学館は、貝塚の自然情報を市民の皆様に提供することを使命とし、市民の皆様の環境教育の場として、自然を楽しむ館として頑張っています。応援よろしくお願いいたします。最後に開催に際し、多くの皆様にご協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

2014年7月
館長 高橋 寛幸

展示会場



展示写真

<植物>

- キバナチゴユリ 蕎原 2014年5月20日 石井葉子氏からの情報提供
イセウキヤガラ 近木川河口 2001年6月18日
アンペライ 千石荘 2013年5月12日
クモラン 梶谷 1997年9月9日
ミヤコミズ 蕎原 2011年6月24日
タヌキマメ 千石荘 1999年10月9日
オニバス 石才 2002年9月15日 清水千尋氏からの寄贈
シロバナハンショウヅル 蕎原 2011年6月24日
カツラギグミ 和泉葛城山 2012年5月10日 石井葉子氏からの情報提供
イヌタヌキモ 二色市民の森・自然生態園「トンボの池」 2009年11月7日
カキノハグサ 和泉葛城山 2014年6月17日
ナツノタムラソウ 蕎原 2014年7月15日 石井葉子氏からの情報提供
ヤマホオズキ 和泉葛城山 2010年8月29日 石井葉子氏からの寄贈
タチカモメヅル 馬場 2010年9月19日
ハシリドコロ 和泉葛城山 2000年4月25日
スズサイコ 蕎原 2004年6月9日
ナガエミクリ 蕎原 1999年10月9日

エイザンスミレ 和泉葛城山 2000年4月5日
ユキワリイチゲ 蕎原 2005年4月1日
コショウノキ 和泉葛城山 2014年4月17日
ツチアケビ 和泉葛城山 2013年11月16日
キンラン 馬場 2014年5月19日 北田誠氏からの情報提供
セトウチホトトギス 蕎原 2010年10月16日
ナンバンギセル 蕎原 1997年9月13日
ギンラン 千石荘 2014年5月8日
タシロラン 千石荘 2012年7月9日 貝塚市初記録
ヤマユリ 蕎原 2003年7月21日 文野春美氏からの寄贈

<藻類>

タンスイベニマダラ 蕎原 2012年12月15日 奥昌之氏からの情報提供

<昆虫・クモ>

イソハサミムシ 貝塚人工島 2010年8月27日

(大阪府初記録の標本は、1994年6月15日、中谷憲一氏採集のもの)

キマダラカメムシ 二色 2011年8月15日 佐々木仁氏からの寄贈

(大阪府初記録の標本は、二色、2004年4月22日、高野晴一郎氏採集のもの)

ムモンチビコツブゲンゴロウ 二色市民の森・自然生態園「トンボの池」 2009年7月11日

(写真の個体が大阪府初記録のもの：森本静子氏採集)

ヒカリアシナガグモ 二色市民の森・自然生態園「トンボの池」 2014年5月24日

(大阪府初記録の標本は、同所、2002年5月8日、松崎真理氏採集のもの)

オツネントンボ 和泉葛城山 2012年10月6日

ムスジイトトンボ 馬場 2012年9月9日 鈴子佐幸氏撮影

ヨツボシトンボ 馬場 2012年5月16日 喜多理恵氏撮影

ナニワトンボ 千石荘 2014年7月30日

ハネビロトンボ 二色市民の森・自然生態園「トンボの池」 2010年9月11日

カヤコオロギ 和泉葛城山 2008年9月10日

タイワンエンマコオロギ 二色市民の森 2008年9月13日 前田一郎氏からの寄贈

ナギサスズ 貝塚人工島 2011年9月25日

サトアリツカコオロギ 近木川汽水ワンド北側斜面 2013年2月13日

サツマヒメカマキリ(幼虫) 蕎原 2006年1月26日

ヤノクチナガオオアブラムシ 千石荘 2011年11月9日

テングオオヨコバイ 和泉葛城山 2014年7月1日

オオツノトンボ 和泉葛城山 2010年8月27日 食野俊男氏採集

セダカコブヤハズカミキリ 和泉葛城山 2013年6月6日

ホシミスジ 千石荘 2013年9月12日

キノコヒモミノガ 千石荘 2012年7月18日

ウスムラサキシマメイガ 澤 2013年8月18日 田中博・橋本和樹・道姓拓海氏からの寄贈

イボタガ 馬場 2014年5月22日

貝塚市の絶滅危惧昆虫マップ・・・2014年の大阪府レッドデータブックの改定によって絶滅危惧のランクが変わりました。それに伴って、これまでの貝塚市の絶滅危惧昆虫マップを作成し直しました。

<爬虫類>

シロマダラ 橋本 2012年9月25日 実森武彦氏からの寄贈

貝塚市に生息するヘビ8種

<鳥類>

セイタカシギ 麻生中 2013年9月18日 食野俊男氏撮影

<魚類>

カライワシのレプトセファルス 近木川河口 2013年7月7日 石井翔生愛氏からの寄贈

キハツク 二色運河 1997年10月12日 松崎徹氏からの寄贈

アユ 近木川下流 2013年9月22日

シラウオ 近木川河口 2002年10月11日

<甲殻類>

チゴイワガニ 近木川汽水ワンド 2013年10月17日 貝塚市初記録

ヨコヤアナジャコとマゴコロガイ 近木川河口 2000年6月5日 武井夏樹氏からの寄贈

<軟体動物>

カキノなかま (イボタガキ科) 近木川河口 2013年8月21日

ブドウガイ 二色海浜緑地前 2001年5月26日

ウミナメクジ 二色の浜 2014年7月14日

展示標本

<昆虫>

トンボ目・・・オツネントンボ、ムカシトンボ、ウチワヤンマ、ナニワトンボ、マイコアカネ、ミヤマアカネ、ヨツボシトンボ、ハネビロトンボ

バッタ目・・・ヒメキマダラウマ* (齋原、2007年6月25日、松下宏幸氏からの寄贈)、タイワ

ンエンマコオロギ、ナギサズ、サトアリツカコオロギ
 カマキリ目・・・サツマヒメカマキリ
 ハサミムシ目・・・イソハサミムシ*
 カMEMシ目・・・エゾゼミ、ヤノクチナガオオアブラムシ、キマダラカMEMシ*
 アミメカゲロウ目・・・オオツノトンボ、クシヒゲカゲロウ
 コウチュウ目・・・ムモンチビコツブゲンゴロウ*、ムネアカセンチコガネ、シロスジコガネ、
 キイロツヤハダコメツキ、セダカテントウダマシ、セダカコブヤハズカミキリ
 トビケラ目・・・カタツムリトビケラ
 チョウ目・・・オオムラサキ、クモガタヒョウモン、ミドリシジミ、ニッポンヒロコバネ、キノ
 コヒモミノガ、ウスムラサキシマメイガ、イボタガ、ブナアオシャチホコ、オナガミズアオ、
 スゲドクガ、エゾヨツメ、コシロシタバ
 ハチ目・・・テケウチナナフシハバチ*(木積、2009年4月16日、吉田浩史氏からの寄贈)、*Armitarsus*
watanabei * (和泉葛城山、2009年6月11日)、キイチゴヒメハバチ* (千石荘、2006年4
 月18日)

* 大阪府初記録標本：写真の箇所で説明のなかったものに関しては、採集場所、採集日、採集者を示しました。

自然遊学館だより抜粋

自然遊学館だよりのこれまでの記事の中で、初記録や、これまで標本がなかった種に関する報文を抜粋して展示しました。

貝塚市の地図と六角生きものカード

来館者に本特別展で紹介した生きものが貝塚市のどの場所に生息しているかを理解していただくために、地図と生きものカードを展示しました。

貝塚市の地図・・・1万分の1の地形図を用意し、貝塚市内の川と池を水色に、二次林・スギヒノキ植林・ブナ林等の林を緑色に、大阪湾を青色に塗りました。

六角生きものカード・・・表面に生きものの画像を貼り、裏面に種名と生息地名を書いたシールを貼りました



謝辞

展示した写真と標本、および調査と同定に協力していただいた方々は、以下の通りです。改めて感謝の意を表します。

石井翔生愛、石井葉子、市川顕彦、岡村親一郎、奥昌之、河合正人、喜多理恵、北田誠、河野通浩、児嶋格、五藤武史、実森武彦、清水千尋、鈴子佐幸、高田雅彦、高野晴一郎、竹井夏樹、田中博、寺田拓真、道姓拓海、中西裕、西川勝、西川喜朗、西村恒一、橋本和樹、濱谷巖、平田慎一郎、福田哲郎、文野春美、堀真治、前田一郎、松崎徹、松崎真理、松下宏幸、食野俊男、森本静子、山口フミ子、吉田浩史、綿石慶太、和田太一、自然遊学館わくわくクラブ、大阪市立自然史博物館（敬称略、当館スタッフ経験者を除く）

引用文献（大阪府初記録に関するもの）

岩崎 拓（2004） 高野晴一郎君が採集したキマダラカメムシ. 自然遊学館だより No. 32 : 9.

岩崎 拓（2008） 貝塚市二色産イソハサミムシ標本. ぱったりぎす 143号 : 9.

松下宏幸（2009） 和泉葛城山での地上徘徊性昆虫調査報告 - ヒメキマダラウマ *Neotachycines furukawai* の大阪府初記録 - . 貝塚の自然第 11号 : 109-113.

森本静子（2009） トンボの池さらえー付記. ムモンチビコツブゲンゴロウ. 自然遊学館だより No. 52 : 9-10.

森本静子（2010） 大阪府南部のゲンゴロウ類調査. 兵庫陸水生物 No. 61-62 : 107-111.

白木江都子（2002） ヒカリアシナガグモ、貝塚で発見!! . 自然遊学館だより No. 24 : 4-5.

吉田浩史・岩崎 拓（2012） 大阪府貝塚市のハバチ亜目. 貝塚の自然第 14号 : 37-46.